

新春のつどい

令和7年1月27日(日) 13:00～ 会場 ロイヤルホールヨコハマ

= 新春のつどい = 次第

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1 開会のことば | 6 若手会員紹介 |
| 2 新年のあいさつ 会長 | 7 支部紹介 |
| 3 お祝いのことば | 8 令和7年度友松会総会の案内 湘南ブロック |
| 4 来賓ご紹介 | 9 師範学校校歌、学生歌(みはるかす) |
| 5 乾杯 <懇談> | 10 閉会のことば |

新年のあいさつ(小島会長) (要旨)



小島会長

本日は横浜国立大学梅原出学長様、鈴木俊彰教育学部長様をはじめ、多くのご来賓の皆様、そして100名を超える会員の参加を頂いて、令和7年新春のつどいを開催できることを心より御礼申し上げます。

この新春のつどいは、コロナ禍以後、総会から懇親の場がなくなったため、同窓生が一堂に会し語り合う唯一の場となってしまいました。一人でも多くの方と触れ合い、同窓生の絆を深めていただきたいと思います。

さて、「みはるかす」を歌えない方はいらっしゃいますか。何人かいらっしゃるようですね。最近の学生生活の中で「みはるかす」を歌う機会が少なくなり、「みはるかす」を知らない卒業生も増えているようです。残念に思います。

昨年11月10日の横国Day当日に「みはるかす碑」建立の完成除幕式が行われました。この「みはるかす碑」は母校の創基150周年を祝う教育学部の記念事業として行われたものです。学生歌となって約70年、ずっと歌い継がれてきた「みはるかす」をこれからも歌い継いで欲しいという思いから建立されました。教育文化ホール入口にありますので、是非一度常盤台に足をお運びください。

歌碑の建立にあたり、友松会の皆様、そして教育学部後援会の皆様にご協力頂いたことに心より感謝申し上げます。150周年の行事はまだ続きますので、ご支援をお願いいたします。

最後に、母校横浜国立大学と私たちの友松会の発展、そして新春のつどいに参加された皆様のご健勝を祈念して、ご挨拶といたします。

お祝いのことば ご来賓代表

横浜国立大学長梅原出様・横浜国立大学富丘会理事長植原慶一様より来賓代表の祝辞をいただきました。梅原学長からは「横浜国立大学D&I教育研究実践センターや台風科学技術研究センターなど、全学部を代表する組織のリーダーとして、教育学部の先生方が活躍されている」「本学には、多様な知がある。それらの知を生かして、横浜国立大学を世界に冠たる大学にしていきたい」というお話がありました。また、植原理事長からは「人を育てることが大変大事になっている。人の個性や性格を生かし、自信ややる気を引き出してほしい」「新春のつどいを通して、同窓の絆を深めてほしい」といったお話がありました。



梅原学長



植草富丘会理事長

乾杯(ご挨拶とご発声) (要旨)

横浜国立大学教育学部長

友松会名誉会長 鈴木 俊彰 様

友松会の皆様には、教育学部の学生や大学院生に対し、教員採用試験に向けての面接対応等、色々な講座でお世話になっていきます。また大学の創基150周年と言うことで、友松会から多大なご寄付を頂きましたことに感謝申し上げます。



鈴木教育学部長

教育学部は、教員養成が一番の目的です。現状としては、先輩を見て努力することが重要であると考えます。学生は、大学の中では様々な活動に取り組んでいます。勿論、教員採用試験に向けても取り組んではいますが、難しい状況もあります。

今後も、友松会の皆様には、教育現場での教

育実習やボランティア活動などを通してご指導いただきたいと思います。

《 懇 親 会 》

若手教員紹介では一人ずつ挨拶があり、また支部紹介もあり盛り上がりました。楽しい歓談の後は、校歌・学生歌の大合唱で、絆をさらに深め和やかで楽しい会となりました。



若手教員紹介



校歌・学生歌斉唱

